

## 平成 23 年度第 2 回広島県公立大学法人評価委員会議事要旨

1 日 時 平成 23 年 7 月 25 日 (月) 13:30~14:40

2 場 所 広島県庁本館 102 会議室

3 出席委員 古賀委員, 葛原委員, 福田委員

4 議 題 (1) 平成 22 年度業務実績評価 (案) について  
(2) 平成 22 年度財務諸表及び利益処分に関する意見について

5 担当部署 広島県環境県民局学事課大学管理グループ  
TEL (082) 228-2111 (内線 2752)

### 6 会議の内容

#### (1) 平成 22 年度業務実績評価 (案) について

事務局から、資料 1 により、前回の審議内容を踏まえて修正された業務実績評価 (案) の説明があった。

〔修正内容〕

・業務実績評価 (案) 「3 項目別評価 IV 財務内容の改善に関する目標 1 経費抑制に関する目標」にリース料前倒し返済において、支払い総額が減額されていないことが経済的合理性に欠ける面があると思われる旨を記載し、小項目評価を 3 から 2 へ変更した。

○ 評価実施要領に基づき、業務実績評価 (案) を法人に提示し、法人に意見申出の機会を付与すること、その際、法人から提出された意見が評価内容の変更を必要としない軽微なものであった場合には、業務実績評価 (案) の修正を委員長及び委員長代理に一任することが了承された。

○ 決定された業務実績評価結果については、事務局から知事へ報告することが了承された。

#### 【委員意見】

- ・リースの前倒し返済が進んでしまったということは、内部統制が機能していないのではないかと。
- ・県民目線で見たときに、きちんと説明責任が果たせるような透明性の高い会計のやりとりが必要。
- ・監査法人からのマネジメントレターは、評価委員会に提出していただきたい。

#### (2) 平成 22 年度財務諸表及び利益処分に関する意見について

事務局から、資料 2, 3 により、財務諸表及び利益処分について説明があった。

○ 財務諸表及び利益処分に関する評価委員会の意見については、今回の審議内容を踏まえ、委員長及び委員長代理に整理を一任することが了承された。

#### 【委員意見】

- ・目的積立金は、教育研究に関する分野においてしっかり活用してもらいたい。
- ・目的積立金の活用は、長期的な計画に従って執行すべき。
- ・経常利益の主な発生要因となっている教員採用抑制による人件費削減が、教育の質の低下や教員の過度な負担増とならないようお願いする。

## 7 会議の資料名一覧

### 【配付資料】

資料1 平成22事業年度公立大学法人県立広島大学業務の実績に関する評価結果（案）

資料2 平成22年度財務諸表

資料3 剰余金のうち中期計画に定める用途に充てられる額の承認申請書

参考資料1 貸借対照表，損益計算書の前年度比較資料

参考資料2 監事・会計監査法人の監査報告書

参考資料3 目的積立金の活用状況について